

教科目名 現代文 (Modern Japanese)

学科名・学年 : 全学科 3年

単位数など : 必履修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間 45時間)

担当教員 : 相本正吾

授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・現代文(評論文・随想・小説・現代詩・短歌・俳句)の内容について読解・鑑賞・文章作成・添削・意見交換を行う。 ・プリントにまとめた主な文芸用語・評論文用語・内外の主な文学者・季語・文法事項などを覚える。 ・プリントの分を試験範囲とした「漢字・語句の小テスト」を二～三週間ごとに行い、漢字・語句の力をつける。 ・年二回、授業で文学作品や文章を創作する「創作大会」を実施する。 			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1)(C1)	
(1) 現代文(評論文・随想・小説・現代詩・短歌・俳句)に親しみ、読解や鑑賞の基礎・応用を身につける。(定期考査・提出課題) (2) 文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や発表力を身につける。(演習ノート, 提出課題, 発表) (3) 文芸用語, 評論用語, 評論文に頻出の重要語句, 文法の基礎事項, をマスターする。(定期考査, 小テスト) (4) 常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語・諺の復習と応用を行う。(「漢字・語句の小テスト」, 定期考査)			
回	授業項目	内 容	理解度の自己点検
1	近現代詩(1)	近現代詩の読解・鑑賞。 , 冒頭でガイダンスを行う。	【理解の度合い】
2	随想(1)	随想の読解。 敬語について(復習応用・1)。	
3	小説(1)	小説の読解。 , 漢詩の復習も行う。	
4	"(")	" . 近現代日本の主な作家について。	
5	評論文(1)	評論の読解。	
6	近現代詩(2)	近現代詩の読解・鑑賞。 近現代日本の主な詩人について。	
7	随想(2)	随想の読解。	
8	前期中間試験		【考査の点数】 点
9	中間試験の解答と解説 短歌・俳句(1)	短歌・俳句の読解・鑑賞。 主な季語について。	【理解の度合い】
10	小説(2)	小説の読解。 外国の主な作家について。	
11	創作大会(第1回)	創作大会を行う。 主な文芸用語(1)。	
12	評論文(2)	評論文の読解。 主な評論文用語(1)。	
13	小説(3)	小説の読解。 文法事項について(1)。	
14	"(")	"	
15	前期期末試験		【考査の点数】 点
	期末試験の解答と解説		
16	随想(3)	随想の読解。	【理解の度合い】
17	評論文(3)	評論文の読解。 主な評論文用語(2)。	
18	小説(4)	小説の読解。	
19	評論文(4)	評論文の読解。	
20	小説(5)	小説の読解。 主な文芸用語(2)。	
21	短歌・俳句(2)	短歌・俳句の読解・鑑賞。	
22	評論文(5)	評論文の読解。	
23	後期中間試験		【考査の点数】 点
24	中間試験の解答と解説 近現代詩(3)	近現代詩の読解・鑑賞。 外国の主な詩人について。	【理解の度合い】
25	評論文(6)	評論文の読解。 主な評論文用語(3)。	
26	創作大会(第2回)	創作大会を行う。 文法事項について(2)。	
27	随想(4)	随想の読解。 敬語について(復習応用・2)。	
28	小説(6)	小説の読解。 主な文芸用語(3)。	
29	近現代詩(4)	近現代詩の読解・鑑賞。	
30	後期期末試験		【考査の点数】 点
	期末試験の解答と解説		
履修上の注意	授業で用いた種々のプリントは考査の範囲に入れることもあるので, 保管しておくこと。		【総合到達度】
教科書	『探求 現代文(改訂版)』(桐原書店), 演習ノート『探求現代文 整理と演習』(〃)		
参考図書	『新詳説 国語便覧』(東京書籍。前年度の継続。)		
関連科目	国語総合(2年), 地域日本文学(4年)		
総合評価	総合評価 = 4回の考査の平均点 × 0.7 + 課題点(30点満点)。総合評価が60点以上を合格とする。対象者に対して再試験は行う。		
			【総合評価】 点

